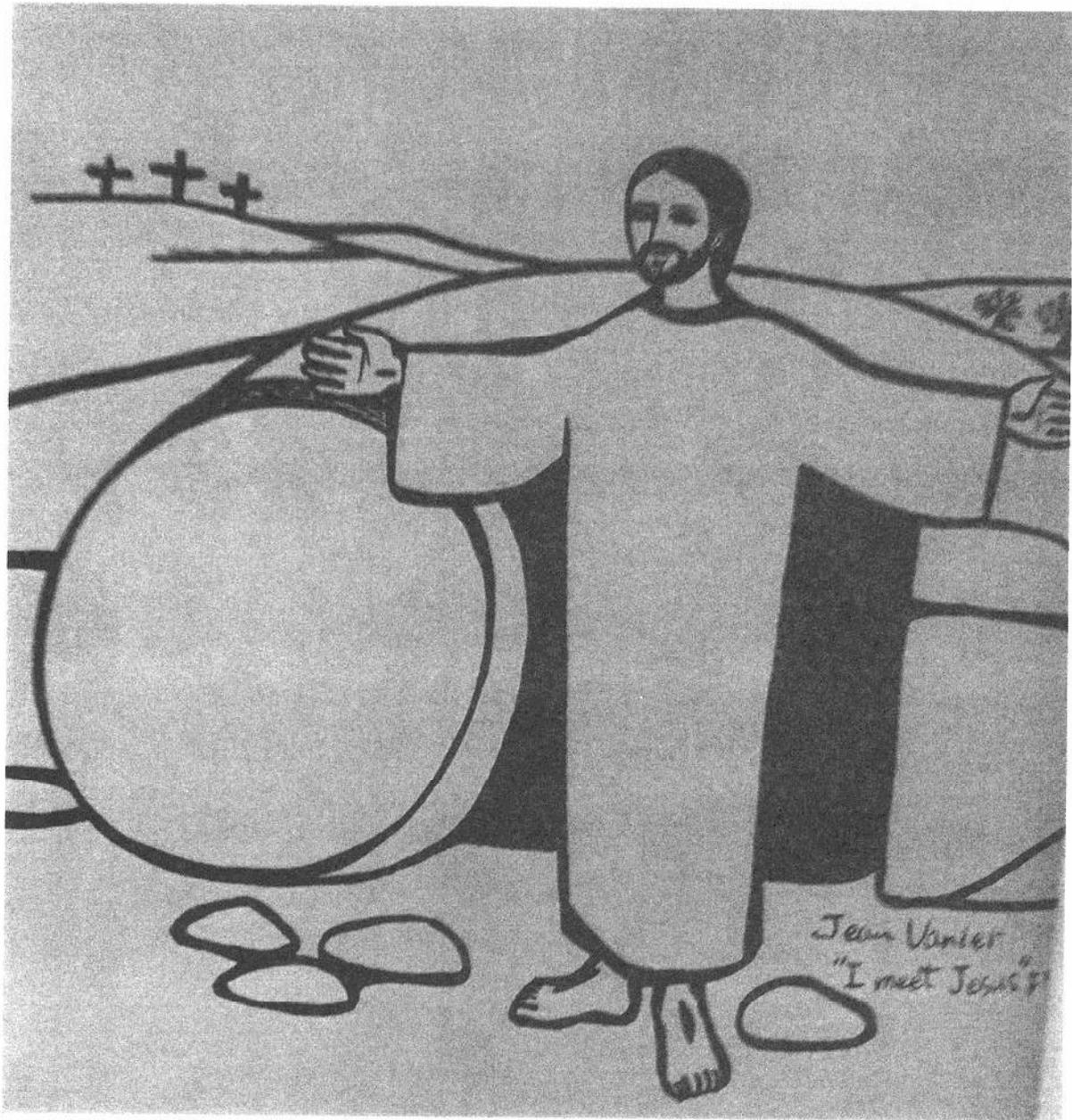


# すみよし



聖句

わたしは世の終わりまで、  
いつもあなたがたと共にいる。

マタイ 28 章 20 節  
選：パウロ Y.S.



## 《 復活の信仰を証<sup>あかし</sup>する者 》

傘木 澄男 神父

復活の朝早く墓で主に出会ったマグダラのマリアは、最初の復活の証人となって、兄弟たちに「私は主を見ました」と告げに走りました。エマウスへの途上で主に出会った二人の弟子は、直ぐに都に引き返して、途<sup>みち</sup>で起こったことや、パンを裂かれた時に主だと分かった次第を話しました。弟子たちは、その復活の証言を携えて宣教に出発して行きました。私たちキリスト者は、同じ復活の信仰を証する者です。

証とはどういうことでしょうか。飛行機の離陸の時きまってパニックに陥る人が、或る時隣に座った紳士から優しく「何もかも神さまの御手のうちにあるのですよ」と話しかけられ、途端に気がゆるんで安心できました。紳士の平静的な態度が強い力を発揮したのです。貧民街に住む或る司祭の所には、ひっきりなしに人々が助けを求めて来ていました。或る寒い日、一人の男が来て「セーターが欲しい」と言いました。他になかったので司祭は自分の愛用の大事なセーターをあげました。「なぜそこまで」と訊かれて司祭は、「貧しい人より自分のセーターを大事にしたと思いたくなかったから」と答えました。ホームレスの人に小銭を差し出す時、ただ渡すだけでなく少し言葉をかけて好意を伝えるならば、施し以上のものとなり、神を証するものとなります。

第二バチカン公会議後の教会では、福音宣教を証として受けとめる見方が深まり、キリスト教的生き方の証こそが、福音宣教の掛替えのない形とされるようになりました。私たちカトリック信者は、信仰をもろに表してあからさまに証することには不慣れで、ためらいがあります。証には、イエスより自分自身

を表に出してしまう危険もあります。ですからその危険を警戒し、押し進めるより引き寄せる要領で証をして行くことが肝要でしょう。殺人や戦争や生命軽視の事件ばかりの世界で、復活信仰を証することに何の意味があるのか、といふかる人もあるかも知れません。復活の信仰とは「愛は死よりも強い」という確信です。「人生は決して空しい無意味なものではない」という悟りです。「愛のわざは最小のものも無駄になることはない」という信頼です。暴動で若い娘を殺された或る両親は、貧者の救済に献身するようになりました。発砲事件で息子を失った或る父親は、安定した職を捨てて銃規制の運動に立ち上がりました。復活信仰の証は、まさに希望を放棄することを日々拒否することなのです。

信頼できる証人（証しびと）とはどういう人でしょうか。マザーテレサは、本当に信じて信仰に生き、それを言葉以上の自己犠牲の奉仕で表し、他者に仕えることを真に自分の名誉としていました。彼女は間違いなく信頼できる証人でした。アシジの聖フランシスコは誰よりも宣教に献身した人ですが、その全生涯は「福音を宣べ伝えなさい。もし必要なら言葉を用いなさい」という一言に要約されます。それがもしも私たちの生き方と証を要約するものとなるならば、素晴らしいことです。「復活を証する者」として生きるキリスト者の祝福された人生の歩みを、今年もご復活から新たな力を頂いて、力強く進めて行きたいものです。





## 目 次



|                       |         |     |         |
|-----------------------|---------|-----|---------|
| ☆ 聖句                  | Y.S.    | ・・・ | 1       |
| ☆ 巻頭言                 | 傘木神父    | ・・・ | 2-3     |
| ☆ 目次                  |         | ・・・ | 4       |
| ☆ 四旬節黙想会              | ペンケレシ神父 | ・・・ | 5-6     |
| ☆ ようこそ、前田万葉大司教様       |         | ・・・ | 7-9     |
| ☆ 阪神淡路大震災追悼ミサ         |         | ・・・ | 10      |
| ☆ 日本で会ったイエス様          | S.R.    | ・・・ | 11      |
| ☆ すみよしトピックス           |         | ・・・ | 12-14   |
| ☆ タイ・スタディーツアーに参加して得た事 | K.S.    | ・・・ | 15-16   |
| ☆ 図書紹介                | ブラザー阿部  | ・・・ | 17      |
| ☆ (教会日誌・信徒動静)         |         | ・・・ | (18-19) |
| ☆ 後記                  |         | ・・・ | 20      |

題 字 J.Y.  
表紙絵 平成元年 第 122 号再掲載

「すみよし電子版」はカトリック住吉教会 HP にフルカラーで掲載されています。

左記 QR コードからのアクセスもご利用下さい。



# 《四旬節黙想会》

指導司祭 ジャン マリー・ペンケレシ神父

2018年3月18日（日）

あちこちで例年より早い桜の開花が報じられた3月18日、四旬節黙想会が行われました。

ペンケレシ神父様は1949年（昭和24年）に来日以来尼崎、北須磨など各地の教会での司牧、JOC（カトリック青年労働者連盟）の活動などを経て、94歳になられる現在まで献身的な宣教の日々を過ごされています。住吉教会では今日まで16年間もお世話になっています。

ミサが始まる前に「神から生を受け聖霊から生きる命を受けた」ことを感謝して「キリストは本当に復活されました」と皆で唱和して回心の祈りをしました。

## 第1講話（ミサ中の説教）

イエスは最後の晩餐のとき、「父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなた方と一緒にいるようにして下さる。この方は、真理の霊である」（ヨハネ14：16）と、聖霊がくだることを約束された。

そしてこの約束は「同じ聖霊を信じる全ての人に約束され」（使徒言行録2：39）私たちの神である主が招いて下さる誰にでも与えられているのです。

聖霊は神の愛であり、無限の力をもった存在です。それを私たちがどこまで意識して満たされているかが問われるのです。

信仰は神のことばを聞き、神のを知ることから始まります。そのためにも聖書を読み、御子をくださった御父の愛を信じ、私たちのために苦しまれたイエスの愛を信じましょう。

## 第2講話

聖歌「生ける神の霊」を歌う神父様の力強い声が聖堂に響き、全員で唱和して聖霊をお迎えする準備が整えられ、神父様は「あなたの真理の言葉を伝え、それを聞く信徒の人たちの心にあなたの心が届き、多くの実をむすびますように。」と祈られました。

「いまだかつて、神を見た者はいない」（ヨハネ1：18） 神を知る唯一の方法は、神の啓示＝神の言葉＝聖書を読むしかない。

神は神の法則に従って私たちにのぞみ、めぐみを与え、それを絶対に捨てない。

すべてを支配してだれもそれに逆らえない。

全能の神がすべての人にはたらくとき、神のすがたを見ることが出来ます。

「神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。・・・この霊によってわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。この霊こそはわたしたちが神の子供であることをわたしたちの霊と一緒にあって証ししてくださいます。」(ローマ8：15～16)

聖霊を受けた私たちはどのように変えられるのでしょうか？

イエスの受難と復活により、私たちは新しい者に造られるのです。「キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古い者は過ぎ去り、新しい者が生じた。」(Ⅱコリント5：17)

私のなかにいつも神(聖霊)の力があり、神の愛を体験することによって、聖霊に満たされ、自分が解放されるのです。霊の実に満たされ心が変わります。

「霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です」

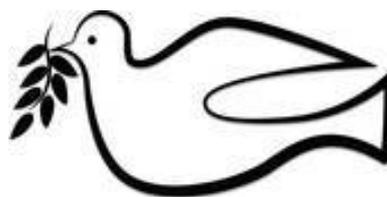
(ガラテア5：22～23)

最後に「生ける神の霊」の歌声が流れる中、希望者全員に一人ずつ神父様が按手され、聖霊を招き、聖霊によってあなたが変えられますようにと、お祈りくださいました。



生ける神の霊

生けるかみの霊やどりませ 生けるか  
みの霊わたしたちをとかしつくり満たし  
つかえ 生けるかみの霊やどりませ



## 《 ようこそ、前田万葉大司教様 》

2018年3月11日

2014年9月23日の着座式以来はじめての司牧訪問をお迎えしました。  
(着座式の詳細は「すみよし」第194号に掲載)

典礼聖歌 40番「神の いつくしみを」とともに入堂された大司教様は「初めての住吉教会でエマニュエル神父様、ペンケレシ神父様、上田助祭（21日に司祭叙階）とともにミサができることを嬉しく思います。そして五七五が二句出来ました。」と言われ

### 『住吉や信徒も家(教会)も春うらら』

大司教様の説明は 「住吉は名前の通り住み良いだろうなあという意味で家も教会も春うらら、お逢いた信徒の皆さんも春うららの印象を詠みました。そして入堂の時に正面の十字架に目がゆき

### 『十字架を仰ぎつゆくや四旬節』

今日は四旬節第4主日、3月11日東北の震災から7年目に当たります、まだまだ苦しんでいる皆さんのために祈りましょう。」とミサが始まりました。

大司教様のお説教の中から・・・

入堂の時に正面の十字架がクローズアップされているという印象を受け、この日のミサの集会祈願にある《あなたはイエスの十字架上の死をとおして、すべての人に及ぶ愛を示してくださいました。わたしたちが救いの光キリストに希望をおき、ゆるぎない信仰をもって歩むことが出来ますように》というこのお祈りの通りだなあと思われたとのこと。

この日はヨハネ(3・14~21)による福音で 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じるものが一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

### 『父と子と霊住吉や四旬節』

と詠まれた句が書かれた紙を信徒席にお見せになり 「住吉に御父と御子と聖霊が共にいてくださり、四旬節は回心のお恵みのチャンスを与えてくださっているのですよ」と励まして下さいました。聖歌集が足りなくなる程たくさんの方が集い心を合わせたミサでした。

ミサ後ホールでおにぎりと豚汁パーティとなりました。

おにぎりと豚汁を頂いて、普段なかなかお会いできない大司教様の前には行列ができました。大司教様は長崎のご出身で長崎の司牧を長くなされた後、東京のカトリック中央協議会のお仕事、広島司教、そして大阪へ来て下さいました。

大司教様の司祭生活のモットーは

「お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」 ルカ5章5節

(編集部)



大司教様、エマニュエル神父様、ペンケレシ神父様と上田助祭によるミサ

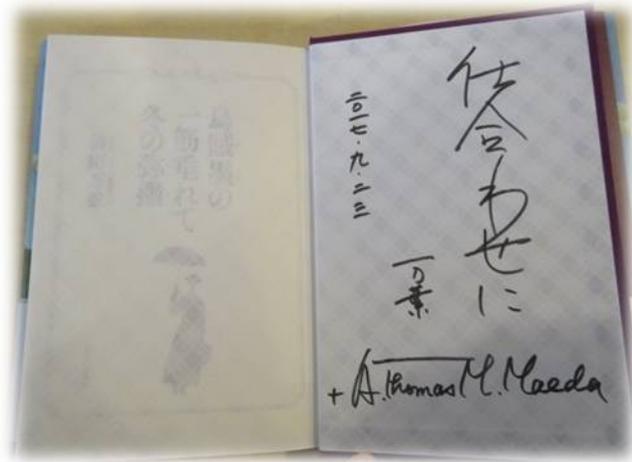


お説教の中でご披露くださった俳句



温かい豚汁とおにぎりでお話もはずみます





著書にご署名をいただいて



大司教様を中心に全員で記念撮影

#### 前田万葉大司教様略歴

- 1949年3月3日 長崎県南松浦郡新上五島町仲知生まれ
- 1975年3月19日 司祭叙階 長崎教区のいくつかの教会を司牧
- 1991年～1994年 司牧のかたわら、長崎教区報「よきおとずれ」の編集長を務める
- 2001年～2006年 平戸ザビエル記念教会主任
- 2006年4月「カトリック中央協議会」事務局長就任
- 2011年9月23日 広島教区司教叙階
- 2014年9月23日 大阪大司教区大司教に着座

## 《 阪神淡路大震災追悼音楽ミサ 》

日本テレマン協会創立 55 周年記念 阪神大震災 23 年追悼音楽ミサ G. フォーレ Requiem が 1 月 14 日(日)14:30 から神戸中央教会で池長大司教・エマニュエル神父司式で行われました。

池長大司教の説教から

地震など大自然災害の中で、私達人間の力は無力です。私たちはその事を知り、神に全てをゆだね祈ることができますように。祈りという大きなお恵みを戴いたことに感謝し、まだあなたを知らない人々の為にも祈れますように。  
あなたのみ手の中でお守りください。

テレマンの演奏と合唱は深い祈りの内に静かに捧げられ、23 年前のあの日を思い出しました。共に捧げた聖堂に溢れる深い祈りは、犠牲になられた多くの方々や、その後の東北、九州震災等で今なお困難な日々を過ごしておられる方々に届いた事でしょう。

主が共に寄り添っていて下さる事を信じ、希望を見出しながら新しい日々を歩んでいけますように。

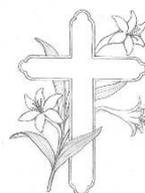


(代表写真から)



### 阪神淡路大震災追悼ミサ

1995 年 1 月 17 日に発生した大震災で犠牲になられたたくさんの方々を追悼し、住吉教会では 16 日 9 時半からエマニュエル神父司式でミサがおこなわれました。愛する家族を亡くされた方々、困難の中にある方々にお恵みが豊かにありますように。



## 《 日本で会ったイエス様 》

S. R.



日本で暮らすようになってから、もう3ヶ月が経とうとしています。韓国にいたらもっと楽に信仰生活ができて好きな仕事もしながら暮らすことができたのに、なぜこの年にこのような苦勞をしなければならないのか、長女は侍者まででしたが、それでは日本ではどう生活すれば良いか？日本語はどうやって勉強すれば良いのか？次女の初聖体拝領はどうしよう。ここに来るまでいろいろ心配してしまい、来日することが楽しみだけではなかったです。それから、韓国と比べて、日本の冬はとても寒かったです。コミュニケーションもそれなりに大変でしたが、何よりこの寒さが大変でした。特に、私はもともとすごく寒がりなので日本での冬が嫌で仕方がありませんでした。

しかし、寒さとは逆に教会の人たちはとても温かく、私たち家族を迎えて下さいました。いろいろ面倒を見て下さり、私の変な日本語も我慢して聴いて下さったり、いろいろところで配慮して下さいました。教会の人たちの温かさは日本の寒さを忘れさせ、ここが私のまた一つの故郷なんだと心から思えるようにして下さいました。

他人への配慮やよく笑うこと、優しく声をかけてあげることなど、人生を生きていくうえでとても大事なことだと思います。子供たちはなんでも早いですね、日本での生活にどんどん慣れていくのを見るとびっくりするぐらいです。日本とは言え、私たち家族はまだ、韓国での生活のように過ごしているのでおそらく、近所の日本人の皆様にはご迷惑をかけているのかもしれませんが、それでも、本当に安心して私たち家族は過ごせております。皆様には心から感謝しております。

今、思い出したことがあります。初めて来日したとき、誰もいない教会に私たち家族はしばらく座っていました。十字架におられるイエス様の顔を見て、まず家の近くにこのような教会があるというのがどれだけありがたいことなのか、家族みんな健康に一緒にいられるのがどれだけ幸せなことなのか、そのときは知りませんでした。イエス様はいつになったら私たちを迎えてくださるのだろうと思いつつ、待っていました。しかし、今思うとイエス様は常に私たち家族の傍にいて下さっていたのです。こんなにまだまだな私にもかかわらず、イエス様は私たち家族を導いてくださって、一緒にいてくださるからこそ、今の私がこうやって日本で生活できていると思っています。日本での生活はイエス様のご慈愛で、頂くことができた素敵な機会だと思います。イエス様、ありがとうございます。

## 《 すみよしトピックス 》

☆ 新成人のお祝い 1月7日（日曜日） ☆

主の公現のミサの中で、今年成人式を迎える二名のお祝いがありました。  
この教会で幼児洗礼を受け、初聖体、堅信を通して成長した姿を暖かく見守り続けて下さった皆様の前で、新成人への想いを新たにしてお二人でした。

このたびは、幼児洗礼を授かったときからお世話になっている住吉教会で成人式を迎えることができとても嬉しく思います。20年間育ててくれた両親をはじめとし、きょうだい、教会の皆様方には大変感謝しています。住吉教会という一共同体の中で私たちは信徒の方々に育てていただいたといっても過言ではありません。成人として教会での役割を持ち、感謝の気持ちを忘れずに日々を過ごしていきたいと思えます。

Y. W.

20歳を迎え、小さい頃から慣れ親しんだここ、住吉教会で皆さんにお祝いしていただいたこと、心より感謝いたします。家族、友達、そして皆さんにたくさんの愛をいただき、元気にそして幸せにこの大きな節目を迎えることができました。これからも好奇心を忘れない一方で、大人としての責任をしっかりと持ち、様々なことに挑戦していきたいと思えます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

A. S.



手作りのお祝いケーキを頂き、二人で  
仲良くカット♪

☆ 聖パウロ三木の祝日 2月4日（日曜日） ☆

2月5日は住吉教会の守護聖人である聖パウロ三木の祝日です。

この日に近い日曜日に、エマニュエル神父様とペンケレシ神父様の司式でお祝いのミサがおこなわれました。

「聖パウロ、聖パウロ三木をはじめとする多くの殉教者たちは、『真の喜びとはたとえそれが苦しみや重荷に満ちた道であっても、主と共に生きる道を進むことでその先にある希望を見出すことである。』と示してくださいました。」

とエマニュエル神父様はお説教の中でお話し下さいました。ミサ後には信徒の方々の心のこもった手作りのおぜんざいを頂いて 体も心もほっこりと温まった冬の日曜日でした。



聖パウロ三木と同志殉教者よ、

あなたがたは京都から長崎までの十字架の道を歩み、  
キリストのためにいのちをささげてくださいました。

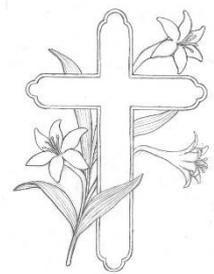
私たちが、あなたがたにならい、勇気をもって信仰のあかしをたて、

どんな試みにあっても、終わりまで耐え忍ぶことが出来るように力づけてください。  
そして、キリストのみ栄を求め、人々の救いのために働くことが出来るように取り次いでください。

私たちの主イエス・キリストによって。アーメン



おぜんざいで歓談



☆ 教会学校遠足 ☆

3月3日（土）、教会学校の遠足で大阪カテドラル（玉造教会）に行きました。エマニュエル神父様から「カテドラル」についての復習、聖堂内の説明をしていただき、聖マリア大聖堂で沈黙の祈り、ロザリオの祈りをお捧げしました。6年生の二人にとっては卒業遠足。暖かい日差しの日、カテドラルで学び、大阪城公園で思いっきり遊び、楽しい一日を過ごしました。



美しいステンドグラスの十字架の道行きは祭壇でのミサにつながっていることを教えていただきました



ファチマのマリア様  
ロザリオを持っていらしたね



全員で記念にパチリ♪

大阪城公園◎たくさんのトンネルをくぐってすべり台へ♪



## 《タイ・スタディツアーに参加して得た事》

K. S.

中学生の頃から、赤波江神父様のスタディツアーで訪れたかった「微笑みの国」、タイ。大学生になり、やっとこのスタディツアーに参加することができました。今回初めてタイを訪問するということで楽しみと不安いっぱいツアー。

タイ北部の山岳地帯にあるパンマオ村を目指し、タイのチェンマイから車で2時間ほど揺られ到着。僕の不安は見事に村人たちの温かい笑顔とおもてなしで吹き飛びました。

パンマオ村での生活は、日本と180度異なるライフスタイルです。シャワーは水浴び、トイレは手動、もちろん冷暖房などありません。最初は慣れない生活に戸惑いましたが、必要最低限のシンプルな生活にすぐに慣れることができました。僕がいかに恵まれている生活を送り、また、両親や僕を支えて下さっている全ての方への感謝の気持ちが日々足りていなかった事を痛感させられました。

パンマオ村では、カレン族のお父さん・お母さん・そして息子さんの3人家族の家にホームステイさせていただきました。お父さんとお母さんは英語を喋ることができず、息子さんと英語で会話しました。そして事ある毎に僕に「このパンマオ村のこの家に来られ幸せか？」と、家族は聞いて下さいました。唐突な質問にびっくりしましたが、気を使って頂きながらも家族として迎えられている感じがし、とても嬉しかったです。

スタディツアーでは、主にカレン族の子ども達と遊ぶ事がメインだった気がします。僕には4年生の弟がいるので、子どもと遊ぶ事は好きな方ですが、コミュニケーションをどの様にとれば良いか最初悩みました。しかし、子ども達との遊びには言葉は不要。純粹に楽しく、僕の方が遊んでもらった気がしています。

パンマオ村は、祖父母が住む福井県とも違う田舎です。何が違うか、それは時空が違っていました。携帯が繋がらないパンマオ村は、様々な情報が飛び交う僕の日本での日常生活から解放され、祈りの生活が出来た毎日でした。祈りと共にある生活、いや、祈りの中に生活がある。祈りを通し、日を追うごとに神の国に近づけた気がしたのは、参加者皆同じだと思います。

今回のスタディツアーを通し、たくさんの事を学ばせて頂きました。言葉は通じなくても心は通じるということが本当にあり、決して便利な生活をしているわけでも無いのに心豊かに穏やかな毎日を過ごせているのは、祈りと共にいるからだと感じました。

最終日、ホームステイ先の家族に英語で手紙を書いてカレン語に翻訳してもらった時、お母さんが「淋しい」と言って下さった事がとても印象的でした。この8日間、あまりお母さんとは喋る事はありませんでした。僕を家族のように、そして息子のように思ってくれた温かい優しさ、信仰心のつながり、心のつながりの大切さを改めて考えさせられました。

たくさんの出会いがあり、僕が知らなかった世界に目を向ける事が出来たこの素晴らしいツアーを企画して下さいました神父様方・シスター方・そしてお世話して下さいました全ての方々に心から感謝いたします。

4月に住吉教会から転出しますが、是非来年もスタディツアーに参加し、更に信仰心を強く持てる大人へと成長していきたいです。  
これから『幸せとは・・・』を日々問い考えながら生活していきます。



## 《 図書紹介 》

聖パウロ修道会 Br.阿部真理

### 1 酒井しょうこと辿る『聖フランチェスコの足跡』—アシジ聖なる風景—

酒井しょうこ著

A5 サイズ、127 ページ、総カラー、1,944 円

みなさんの中には、フランシスコ教皇様の霊名であり、聖フランシスコの生誕地である、アシジに巡礼に訪れた方がいらっしゃると思います。アシジは、また巡礼に行きたくなるような場所です。この本はそんな魅力ある聖なる地「アシジ」を紹介する本です。

この本は、そのアシジの魅力を、総カラーのページに収めたコンパクトなガイドブックになっています。田園調布教会の信徒であり、在世フランシスコ会員として、教会のそばに小さなショップを持ち、著作活動もてがけておられる酒井しょうこさんが、みずから聖フランシスコの跡を辿り、順を追って紹介していきます。たくさんの写真と、コメント、祈り、ガイド、すべてが役に立つことでしょう。すでに巡礼に行かれた方には振り返りとして、初めて巡礼に行かれる方は、準備として最適な本です。また、なかなか巡礼に行くことができない人にとっても、情景を思い浮かべることができる本となることでしょう。

### 2 『愛と英知の道』—すべての人のための霊性神学—

ウイリアム・ジョンストン著、九里彰監訳、岡島禮子、三好洋子、渡辺愛子共訳

A5 サイズ、572 ページ 3,672 円

一見、分厚い本と、ページ数の多さ、なかなか読むのが困難と思われるような本ですが、読み始めると、霊的にも神学的にも、また、日本文化にも秀でた著者による導きに、知らず知らずに引き込まれてしまう本です。著者のウイリアム・ジョンストンは、イエズス会の司祭で、英文学、宗教を、上智大学で講じるかわら、東西の宗教思想、神秘主義の研究に尽力、ペトロ・アルペ、トーマス・マートン、ダライ・ラマ、永井隆、遠藤周作との出会いから生まれたたくさんの著作があります。

この本が、「聖性への道しるべ」となり、神に向かう手助けとなりますように。

### 3 『教会の聖人たち』上・下巻 —全面改定版—

池田敏雄編著 A5 サイズ、上製、上巻606 ページ、下巻789 ページ

上巻 5,184 円、下巻 5,400 円

信者さんであれば、誰もが一度はカトリックの聖人伝を読まれたことがあると思います。この本は、今現在カトリックで出版されている聖人伝の中でも、充実した内容、深さ、そして、特に大切な聖人を網羅した本として秀でています。1977年の初版より、たくさんの方に読み継がれてきました。そして今回、その全面改定版として、2016年に上巻が、2017年に下巻が発行されました。洗礼の霊名を選ぶ時に、そして、聖人に倣う者として私たちが歩む道に、大きな支えになることでしょう。個人的な毎日の黙想にも最適です。

聖人の模範に倣うこと、それは、キリストに倣うための近道です。すべての聖人が、最初は私たちと同じ弱さを持った一人の人間です。神さまの支え、導きに、そして、キリストに倣う強い思いが聖人へとつながる道なのです。

さあ、私たちも聖人にならってキリストと共にあゆみましょう。

## 《 編 集 後 記 》

今年の復活祭は4月1日で、日本の年度替わりの日と重なり、いつにもまして新しい始まりといった感がいたします。卒業・入学、就職、職場の中の異動といった別れや出会いの季節の中、見送る側は少し寂しいものですが、旅立っていく方は希望や期待に心躍らせて新しい環境でスタートされることと思います。

そう思った時、永のお別れをした方々に思いを巡らせますと、私達は寂しいけれど、帰天された方々は神様のもと新しい命を生き始めておられる・・・と気づかされました。

「散る桜 残る桜も 散る桜」(良寛)ではありませんが「散る桜 残る桜も 御手のうち」で同じキリストの命のうちに生きている恵みに感謝します。

ご復活祭おめでとうございます。

H. H.

毎年、イースターのこの時期は若い方たちの旅立ちや新生活の始まる季節でもあります。ご両親、ご家族だけではなく共同体の皆さんからも暖かく見守られて成長してきた住吉の子どもたちがこれから歩む道を神様、どうか明るく照らし、お導き下さいと祈るばかりです。

A. S.

### 教会案内

#### ミサ

|      |          |       |
|------|----------|-------|
| 主日ミサ | 日曜日      | 9:30  |
|      | 第1・第3土曜日 | 19:00 |
|      | スペイン語    |       |
| 週日ミサ | 火・金曜日    | 9:30  |

#### 講座

|                         |             |       |
|-------------------------|-------------|-------|
| 信仰講座 (Fr. 傘木)           | Fr. 傘木担当日曜日 | 10:50 |
| 信仰の分かち合い                | 第2・第4日曜日    | 11:00 |
| 聖書の集い (Fr. エマニュエル平日担当週) | 金曜日         | 10:15 |
| Come & See              | 第4土曜日       | 15:00 |

#### 教会学校

第1・第3土曜日 14:00-16:00  
対象：小学1年生～6年生

#### 評議会

第3日曜日 11:00

#### 野宿者支援炊出し

第1土曜日 9:30  
(住吉教会集合)



### 「すみよし」第204号

|   |                                |
|---|--------------------------------|
| 発行日   | 2018年4月1日                      |
| 発行責任者   | エマニュエル神父<br>コンスルタ神父            |
| 編集・印刷・発行  | 広報チーム                          |
| 発行所   | 神戸市東灘区住吉宮町2-18-23<br>カトリック住吉教会 |
| TEL   | 078-851-2756                   |
| FAX   | 078-842-3380                   |
| <a href="http://www.sumiyoshi.catholic.ne.jp">http://www.sumiyoshi.catholic.ne.jp</a> |                                |